

○研修報告書

日 時：令和6年10月17日（木）～18日（金）

場 所：アクリエひめじ（姫路市文化コンベンションセンター）

今回の「全国都市問題会議」のテーマは、「健康づくりとまちづくり～市民の一生に寄り添う都市政策」で、健康づくり政策に対する自治体の在り方を論ずるものでした。

コロナウイルス感染症の脅威や少子高齢化の対応など市民の健康づくりの重要性がここ数年で大きく高まってきていることから、行政による住民の健康づくりへの支援がこれからの社会的課題となってくるとのこと。

そこで、人口減少・少子高齢化が進む社会において、「誰一人取り残さない」、市民の一生に寄り添う都市政策としての「健康づくり」を考える研修会となりました。

（要点）

- ・これまでの「健康づくり政策」を振り返ること。
- ・自治体は住民の健康づくりにどう貢献できるか。
- ・今後の「健康づくり政策」における課題と方策。
- ・新たな時代の「健康づくりとまちづくり」を考える。

2022 年 10 月に健康日本 21（第二次）に関する最終評価報告書が公開され、その中で、特に健康寿命の延伸は顕著な傾向を示しており、2019 年時点で健康寿命は男性が 72.68 歳（平均寿命は 81.41 歳）、女性が 75.38 歳（平均寿命 87.45 歳）と過去 20 年で約 3 歳延伸いるが、平均寿命と健康寿命との差は縮小傾向にないようで、まだまだ十分な取組とは言い切れないとのこと。

これからの健康づくりの課題としては、単なる健康寿命の延伸だけではなく、「人生 100 年時代」を念頭に置いた健康づくりと、市民一人一人の健康意識の醸成もカギとなるとのことでした。ここで期待されるのは、住民生活に密接にかかわっている自治体であり、国の政策を補完するだけでなく、地域の実情を踏まえた独自性のある健康づくり政策が必要とのこと。

今回の研修は、上記の内容はもちろんですが、要点についてのいろいろな政策の内容もお聞きしましたので、本市で何ができるのかを考えていきたいと思っています。

* 研修日程の内容は別紙参照

1. 会議日程

第1日 10月17日(木)	
9:30	開会式 開会挨拶 全国市長会会長 広島県広島市長 松井 一 實 開催市市長挨拶 兵庫県姫路市長 清元 秀 泰 来賓祝辞
9:50	基調講演 生命を捉えなおす ― 動的平衡の視点から ― 生物学者、青山学院大学教授 福岡 伸 一 氏
11:00	主報告 市民の「LIFE」(命・くらし・一生)を守り支える 姫路の健康づくりとまちづくり 兵庫県姫路市長 清元 秀 泰 氏
12:00	昼 食
13:10	一般報告 生き物から学ぶ健康なまちづくり 筑波大学システム情報系教授 谷口 守 氏
14:10	休 憩
14:30	一般報告 都市そのものを健康にするまちづくり ～ストレスを軽減し、リフレッシュできるまちへ～ 千葉県流山市長 井崎 義 治 氏
15:30	一般報告 IT/AI の健康分野への適用例 ～姫路市の健診データ解析と歌唱による誤嚥予防～ 兵庫県立大学副学長 畑 豊 氏
16:30	終 了

第2日 10月18日(金)

パネルディスカッション

【テーマ】

健康づくりとまちづくり ～市民の一生に寄り添う都市政策～

【コーディネーター】

中央大学法学部教授

宮 本 太 郎 氏

9:30

【パネリスト】

高岡病院児童精神科医

三 木 崇 弘 氏

NPO法人日本栄養パトネット理事長

奥 村 圭 子 氏

長野県茅野市長

今 井 敦 氏

大阪府泉大津市長

南 出 賢 一 氏

閉 会 式

11:50

次期開催市市長挨拶

栃木県宇都宮市長 佐 藤 栄 一

閉会挨拶

公益財団法人後藤・安田記念東京都市研究所理事長

小早川 光郎

行政視察【事前申込者のみ(有料)】

行 政 視 察

A:「文化財活用事例」視察コース

B:「伝統文化学習事例」視察コース

C:「最先端研究基盤施設」視察コース

D:「通貨処理機のトップメーカーと播磨酒文化」視察コース

E:「平和学習」視察コース

F:「播磨灘の食と地場産業」視察コース